



平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 北川精機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小林 由和

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	2,389	60.1	198	90.9	184	83.1	172	39.0
29年6月期第2四半期	1,492	27.8	103		100		124	

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 187百万円 (52.9%) 29年6月期第2四半期 122百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	22.57	
29年6月期第2四半期	17.86	17.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第2四半期	6,713	1,700	21.3	187.33
29年6月期	6,366	1,540	19.8	164.81

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 1,432百万円 29年6月期 1,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		0.00	0.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,950	1.9	420	0.5	390	3.0	280	10.2	36.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年6月期2Q	7,649,600 株	29年6月期	7,649,600 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年6月期2Q	1,796 株	29年6月期	1,796 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

30年6月期2Q	7,647,804 株	29年6月期2Q	6,957,804 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善、設備投資の持ち直しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、北朝鮮情勢の地政学的リスクが依然として懸念されているものの、米国・欧州を中心に回復がみられました。

このような状況のもと当社グループは、最終年度となる中期経営計画「新領域へのチャレンジ～新たなK I T A G A W Aの確立～」に基づき、引き続き3つの重点項目「真空プレス技術の新分野・新市場への拡大・浸透」「収益力強化と価格競争力向上による強固な経営基盤の確立」「活力溢れる組織の実現」に積極的に取り組み、経営基盤の強化を図るとともに、今後の大きな飛躍への土台造りにも取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,389百万円（前年同四半期比60.1%増）、営業利益198百万円（前年同四半期比90.9%増）、経常利益184百万円（前年同四半期比83.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益172百万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の受注金額・納期にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(産業機械事業)

プリント基板用及び基板関連プレス装置の海外向け大型案件が好調に推移したことと、車載基板等の成形用プレス装置や自動車部品成形用搬送ライン・樹脂成形装置などの多様な売上があったため、売上高2,101百万円（前年同四半期比95.0%増）、営業利益214百万円（前年同四半期比81.2%増）となりました。

(建材機械事業)

前連結会計年度と同様に、建材関連企業向け合板プレス・合板機械の売上が第4四半期連結会計期間に集中しているため、売上高227百万円（前年同四半期比31.1%減）、営業損失10百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

(その他)

油圧機器の主要販売先への売上が一時的に減少しましたが経費削減等に努めた結果、売上高60百万円（前年同四半期比29.1%減）、営業利益7百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,713百万円となり、前連結会計年度末に比べて346百万円の増加となりました。増加の主なものは、現金及び預金296百万円、商品及び製品133百万円、仕掛品126百万円、減少の主なものは、受取手形及び売掛金230百万円であります。

(負債)

負債は5,012百万円となり、前連結会計年度末に比べて186百万円の増加となりました。増加の主なものは、長期借入金729百万円、流動負債その他に含まれる前受金211百万円、減少の主なものは、短期借入金771百万円であります。

(純資産)

非支配株主持分を含めた純資産は1,700百万円となり、前連結会計年度末に比べて160百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益172百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,491百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は408百万円（前年同四半期は185百万円の獲得）となりました。収入の主なものは、税金等調整前四半期純利益184百万円、売上債権の減少額241百万円、前受金の増加額211百万円、支出の主なものは、たな卸資産の増加額246百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は20百万円（前年同四半期は175百万円の使用）となりました。収入の主なものは、保険積立金の解約による収入34百万円、支出の主なものは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出26百万円、有形固定資産の取得による支出21百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は93百万円（前年同四半期は114百万円の使用）となりました。収入の主なものは、長期借入れによる収入1,000百万円、支出の主なものは、短期借入金の減少785百万円、長期借入金の返済による支出302百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期においては売上高・利益ともに計画を上回り受注も堅調に推移しておりますが、連結業績予想につきましては前回の予想を修正しておりません。

これは、産業機械事業において、第3四半期に予定していた海外向け大型案件の一部を前倒して当第2四半期に売上計上できたことや、半導体製造設備業界の好況を背景とした一部原材料調達の納期長期化傾向が続いているためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,691	1,494,637
受取手形及び売掛金	2,157,842	1,927,396
商品及び製品	10,677	144,494
仕掛品	365,612	492,188
原材料及び貯蔵品	132,600	118,468
その他	43,952	68,860
貸倒引当金	△10,723	△5,982
流動資産合計	3,897,652	4,240,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	629,426	612,211
土地	1,456,889	1,495,753
その他(純額)	150,025	156,811
有形固定資産合計	2,236,340	2,264,776
無形固定資産	13,996	22,024
投資その他の資産		
その他	249,801	199,712
貸倒引当金	△31,119	△13,390
投資その他の資産合計	218,681	186,322
固定資産合計	2,469,019	2,473,123
資産合計	6,366,671	6,713,185
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	703,011	735,530
電子記録債務	308,440	409,399
短期借入金	2,324,500	1,553,095
未払法人税等	57,406	40,876
賞与引当金	26,161	30,221
役員賞与引当金	8,000	4,000
製品保証引当金	54,900	51,114
受注損失引当金	29,018	3,400
その他	646,741	762,725
流動負債合計	4,158,179	3,590,362
固定負債		
長期借入金	254,492	984,161
役員退職慰労引当金	39,125	44,261
退職給付に係る負債	343,622	362,595
その他	31,101	31,266
固定負債合計	668,341	1,422,283
負債合計	4,826,521	5,012,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	1,335,010
資本剰余金	1,340,745	1,340,745
利益剰余金	△1,424,130	△1,251,487
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	1,250,529	1,423,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,005	562
為替換算調整勘定	6,866	8,951
その他の包括利益累計額合計	9,871	9,513
非支配株主持分	279,748	267,852
純資産合計	1,540,150	1,700,538
負債純資産合計	6,366,671	6,713,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,492,525	2,389,364
売上原価	1,055,715	1,833,384
売上総利益	436,810	555,979
販売費及び一般管理費	333,041	357,870
営業利益	103,768	198,109
営業外収益		
受取利息	173	402
受取配当金	449	489
為替差益	33,467	5,690
その他	6,023	6,932
営業外収益合計	40,114	13,515
営業外費用		
支払利息	23,764	20,780
固定資産除却損	13,697	9
その他	5,805	6,578
営業外費用合計	43,268	27,368
経常利益	100,614	184,256
特別利益		
受取保険金	9,946	—
特別利益合計	9,946	—
税金等調整前四半期純利益	110,561	184,256
法人税等	△2,802	18,309
四半期純利益	113,363	165,946
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,875	△6,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,239	172,642

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	113,363	165,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,966	5,612
為替換算調整勘定	3,251	15,817
その他の包括利益合計	9,217	21,430
四半期包括利益	122,581	187,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,457	194,072
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,875	△6,696

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	110,561	184,256
減価償却費	38,030	36,865
賞与引当金の増減額 (△は減少)	603	3,660
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,200	△4,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,774	17,223
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,226	5,135
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,415	△3,786
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	791	△25,618
工場移転損失引当金の増減額 (△は減少)	△30,206	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,781	△4,885
受取利息及び受取配当金	△623	△891
支払利息	23,764	20,780
為替差損益 (△は益)	△17,022	△152
固定資産除却損	13,697	9
受取保険金	△9,946	—
売上債権の増減額 (△は増加)	119,421	241,335
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△797,008	△246,163
仕入債務の増減額 (△は減少)	359,102	131,423
前渡金の増減額 (△は増加)	△6,336	1,731
前受金の増減額 (△は減少)	491,004	211,438
未払金の増減額 (△は減少)	△47,328	△39,872
未払費用の増減額 (△は減少)	△24,107	△36,792
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△39,285	△15,646
その他	45,159	△5,911
小計	214,250	470,138
利息及び配当金の受取額	623	891
利息の支払額	△23,793	△20,600
受取保険金の受取額	9,946	—
損害賠償金の支払額	△10,063	—
法人税等の支払額	△5,422	△41,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,542	408,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,300	△6,300
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△26,208
有形固定資産の取得による支出	△168,087	△21,880
有形固定資産の売却による収入	95	2
無形固定資産の取得による支出	—	△1,733
投資有価証券の取得による支出	△979	△1,010
保険積立金の積立による支出	△6,906	△3,276
保険積立金の解約による収入	—	34,490
その他の支出	△100	△268
その他の収入	793	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,485	△20,176

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,181	△785,804
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△131,854	△302,282
非支配株主への配当金の支払額	△2,600	△5,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,273	△93,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,608	1,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△83,607	296,946
現金及び現金同等物の期首残高	1,467,617	1,194,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,384,010	1,491,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	産業機械事業	建材機械事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,078,068	329,317	1,407,385	85,140	1,492,525	—	1,492,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	—	24	21,744	21,768	△21,768	—
計	1,078,092	329,317	1,407,409	106,884	1,514,294	△21,768	1,492,525
セグメント利益又は損失(△)	118,141	△19,066	99,075	6,563	105,638	△1,870	103,768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	産業機械事業	建材機械事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,101,957	227,034	2,328,991	60,372	2,389,364	—	2,389,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	—	32	23,968	24,000	△24,000	—
計	2,101,989	227,034	2,329,023	84,341	2,413,364	△24,000	2,389,364
セグメント利益又は損失(△)	214,093	△10,354	203,738	7,633	211,372	△13,263	198,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にたな卸資産の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。